社団法人 地盤工学会

基準部 会

平成20年度第2回 議事録(案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 20 年 7月 18 日 (金) 14:00~17:00 予定			場所	地盤工学会 会議	養室		
部長	北詰 昌樹	0	★理事	江藤 芳武	×	幹事	仙頭 紀明	0
★部員	伊貝 聡司	0	★部員	長田 昌彦	×	部員	川崎 了	0
部員	岸田 潔	☆	部員	関野 武志	×	部員	豊田 浩史	0
部員	西岡 英俊	0	部員	平井 貴雄	0	部員	利藤 房男	0
オブ゛サ゛ーハ゛ー	寺本 邦一	×						
前理事	宮島 昌克		前理事	石井 秀明		前部員	伊藤 洋	
前部員	仲本 治		前部員	平野 由紀夫				

★: H20 年度新任 ○: 出席予定 ☆: 出席(電子会議) ◎: 代理出席 ×: 欠席予定 △: 未定

配付資料

	肛 们 貞 科
資料番号	資料
資料-20.2.0	平成 20 年度第 1 回基準部会議事録案
資料-20.2.1	平成 20 年度基準部名簿
資料-20.2.2	平成 20 年度地盤調査規格・基準委員会名簿
資料-20.2.3	地盤調査規格・基準委員会 WG12 貫入式地盤硬度計基準化
資料-20.2.4	改正規格素案の公示後の検討結果
資料-20.2.5	改正規格素案の公示後の修正案
資料-20.2.6	新規制定基準「ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法基準」
資料-20.2.7	新規制定「ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法基準」解説案
資料-20.2.8	新規制定基準「ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法基準」英訳案
資料-20.2.9	新規制定「ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法基準」解説等の事項一覧事前修正事項一覧
資料-20.2.10	新規制定基準「不飽和地盤の透気試験方法」データシート案
資料-20.2.11	既刊本「岩の試験・調査方法の基準、解説書(平成 18 年度版)」増刷用データ
資料-20.2.12	理事会(4月25日,5月16日開催),総会(5月29日開催)議事録, 運営連絡会議(6月27日開催)議事録案
資料-20.2.13	ISO 国内委員会報告資料 [6/27 議事録案]
資料-20.2.14	地盤工学表記法委員会報告資料 [5/16 議事メモ]
資料-20.2.15	室内試験規格・基準委員会報告資料 [7/11 議事録案]
資料-20.2.16	
別添資料-20.2.1	

審議事項

1. 前回議事録の確認

(資料-20.2.0)

原案通り承認された。

2. 全体関係

理事会報告 (1) 平成 20 年度基準部の構成

(資料-20.2.1)

原案通り承認された。

- 3. 委員等の異動
 - (1)委員会の構成

①地盤調査規格・基準委員会(メール審議,理事会報告済み) (資料-20.2.2)

②地盤調査規格・基準委員会 WG12 (メール審議, 理事会報告済み) (資料-20.2.3)

(2) 交代

理事会報告 ①地盤調査規格・基準委員会 WG4

·田中 洋輔 幹事 (東亜建設工業 (株)) → 平林 弘氏 (同社)

理由:田中幹事の転勤のため。平林氏は幹事として就任

上記委員の交代を承認した。

(3) 追加

理事会報告 ①ISO 国内委員会/TC182 国内専門委員会

· 西村 真二 氏 ((株)地盤試験所技術部)

理由:西村氏は過去,杭の鉛直載荷試験の杭の動的試験の基準作成の委員で,杭の動的試験のエキスパートであります。CEN/TC341/WG4(構造物の載荷試験)において,継続的に日本の立場を示していくうえで,TC182国内専門委員会の委員として推薦する次第です。

- · 豊田 浩史 氏(長岡技術科学大学工学部)
- · 吉嶺 充俊 氏(首都大学東京都市環境学部)

理由: CEN/TC 341/ WG 6 において、「Calling for experts and convenor for the new CEN/TC 341/ WG 6 "Laboratory tests on soils"」という照会が来ており、室内試験 規格・基準委員会の後藤先生に Expert として審議に参加していただける適任者をご 推薦いただければとお願いしたところ、上記 2 名のご推薦を頂きました。

理事会報告 ②室内試験規格・基準委員会 WG4 力学特性 (メール審議済み)

・小田 和広 氏 (大阪大学大学院工学研究科)

理由:三軸試験の解説執筆を担当いただくため

理事会報告 ③地盤調査規格・基準委員会 WG4 ※3名の承認

- ・加藤 俊二 氏((独) 土木研究所材料地盤研究室)
- •中村 裕昭 氏((株) 地域環境研究所)
- ・松本 樹典 氏 (金沢大学)
- ・その他1名人選中(社団法人全国地質調査業連合会から推薦をお願いしている)

理由: 本ワーキングで、標準貫入試験の JIS の改正を検討することになり、検討に必要なメンバー4名を加えたい。

上記委員の追加を承認した。

(4) 退任

理事会報告 ①ISO 国内委員会/TC182 国内専門委員会

足立 格一郎 委員長

理由:健康上の理由で本人より退任の申し出がなされた。承認され、基準部に上申する。代行 を木幡 ISO 国内委員会委員長が行う。

上記委員長の退任を承認した。

(5) 推薦

- **理事会報告** ① (社) 日本粉体工業技術協会からの要請: ISO/TC24 のふるい関係(SC1,3&7 に代わって新しくできた SC8) が動き出す予定で,前回の JIS 改正のときも学会から派遣されたが,今回もお願いしたいとのこと。なお,委員会は必要に応じて開催され,不定期となります。旅費については、原則として出されません。
 - ・岩崎 公俊 氏 (室内試験規格・基準委員会 WG1 物理試験 メンバー, 基礎地盤コンサルタンツ(株)総務部)
- **理事会報告** ②JISC 土木技術専門委員会への地盤工学会から推薦:前任 伊藤洋委員の後任として 利藤房男部員を推薦したい

上記の推薦を承認した。①に関しては、旅費を支出する委員会を決める必要がある(候補: I S O 国内委員会)。

- 4. ISO国内委員会 関係
 - (1)海外派遣

理事会報告 ① CEN/TC341/WG4 (構造物の載荷試験)

期間:2008年10月17日~10月21日(会議は19日)

訪問国:リトアニア 派遣者:西村 真二 氏

理由: CEN/T C341/WG4 (構造物の載荷試験) にはこれまで、日本代表、ISO/P メンバーとしてこれまで派遣してきた。これまで審議されてきた試験基準は杭の鉛直載荷試験、グラウンドアンカー載荷試験であり、地盤工学会基準の反映や矛盾の無いよう意見を主張している。この度、第8回のWG4が開催され、杭の動的載荷試験の審議がはじめて実施されることから、是非とも上記会議に1名派遣したいので、ご了承をお願いいたします。

理事会報告 ② ISO/TC190/SC7/WG4 会議(油汚染関連)

期間: 平成20年9月3日~9月7日

訪問先:デンマーク Charlottenlund の規格協会派遣者:中島 誠(国際環境ソリューションズ)

同行者:王 寧 (環境管理センター) *土壌環境センターが旅費負担

目的: ISO/TC190/SC7/WG4 会議が開催される。本 WG に出席し、日本のガイドライン (特に TDH 測字支法) を説明する 予定できる

に TPH 測定方法) を説明する予定である。

理事会報告 ③CEN/TC250/SC7 (ユーロコード 7) ワルシャワ会議(前回部会承認)への派遣取消し

期 間:2008年6月24日~29日(会議は26日,27日)

訪問国:ポーランド・ワルシャワ

派遣者:松井謙二委員一名を派遣。予定していた原隆史委員はご本人の都合により派遣しな

①~②の海外派遣を承認した。③の派遣取消しを承認した。

- 5. 地盤工学表記法委員会 関係
 - (1)「用語対訳」の取り扱いについて(継続)

伊貝委員より、用語辞典に掲載されなかった用語を加えた用語対訳を無償で会員に公開し、会員からの意見をもとに対訳の質を向上させる方針について説明があった。「用語対訳」を用語辞典出版の副産物として位置付けていることおよび成果を無償で公開することについて難色を示す意見があがった。次回部会おいて再度審議することになった。

6. 室内試験規格 基準委員会 関係

理事会審議 (1) 改正規格素案の検討

(資料-20.2.4~5)

・「土と基礎」2月号に公示した17件の規格改正について

17件の改正規格素案を承認した。

- 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係
 - (1) 新規制定基準「ボアホール・傾斜計による岩盤内変位測定方法」 (資料-20.2.6~9)
 - ①解説案
 - ②英訳案

解説において、結果の利用や適用事例があるとわかりやすいとの指摘があった。必要に応じて、参考文献を記述した方がよいとの指摘もあった。図面の修正(図-7)と固有誤差についての説明が不足している点(A軸、B軸)について改善を求める意見があった。英訳案について修正・意見がある場合は、利藤部員に連絡することになった。

(2) 新規制定基準「不飽和地盤の透気試験方法」

(資料-20.2.10)

①データシート案

理事会報告 小冊子の発刊新規制定基準「不飽和地盤の透気試験方法」

①部数:200部

②販売価格:600円(会員特価)

上記基準のデータシートを承認した。小冊子の発刊についても承認した。

8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

審議事項無し。

9. 販売促進 WG

審議事項無し。

10. 基準部所管刊行物

理事会報告 (1) 岩の試験・調査方法の基準,解説書(平成 18 年度版) (メール審議済み)

増刷部数 150部

(資料-20.2.11)

11. その他

審議事項無し。

報告事項

1. 理事会(4月25日,5月16日,5月29日(総会),6月29日(運営連絡会議)) 開催報告 (資料-20.2.12)

前回部会より上申された事項が報告された。

2. 全体関係

事務局より来年度予算の編成作業が9月頃から始まるとの報告があった。

- 3. 部会・委員会関係
 - (1) ISO 国内委員会
 - ①ISO 国内委員会開催報告

(資料-20.2.13)

平成20年度第1回委員会議事録をもとに活動報告があった。

理事会報告 ②平成 20 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)	報告書 の有無	(納期)	
・沿岸開発技術研究センター		0		
・土木学会		0		
・土木学会(上期)		×		
・土木学会(下期,英訳)		×		
· 土木学会(下期, 旅費)		×		
日本規格協会(回答作成)	50 万円 ※	×	2/末	
・日本規格協会(重点TC旅費)	60 万円 ※	×	実施の都度	
・経済産業省	500万円 ※	0	3/16	
1	610 万円	※:上限		

- (2) 地盤工学表記法委員会
- ①地盤工学表記法委員会開催報告

(資料-20.2.14)

平成20年度第1回WG1&WG2議事内容メモをもとに活動報告があった。

(3)室内試験規格・基準委員会

①室内試験規格·基準委員会開催報告

(資料-20.2.15)

平成20年度第2回委員会議事録をもとに活動報告があった。

- (4) 地盤調査規格・基準委員会 特に無し。
- (5) 地盤設計・施工基準委員会 特に無し。
- (6) 販売促進 WG 特に無し。

4. 日本工業標準調査会 土木部会の開催報告

特に無し。

●H19年度 基準部関係委員会開催状況

●H19年度 基準部関係委員会開催状況		
委 員 会 名		委員会開催日, 太字 は次回開催日
基準部会	北誥 昌樹	4/21, 7/18
ISO 国内委員会	木幡 行宏	6/27 ,9/26
・WG1 ISO/TC182 対応	足立格一郎	6/27 ,9/26
・WG2 ISO/TC190 対応	平田 健正	4/17WG10,5/ 9WG10,6/27WG10,8/ 5
		WG10
・WG3 ISO/TC221 対応	三木 博史	7/9(広島)
室内試験規格・基準委員会	後藤 聡	4/11,7/ 11(広島), 8/ 1 幹事会
・WG1 物理特性(土と岩)	古河 幸雄	
・WG2 化学特性(H17 化学試験)	川地 武	4/4
・WG3 透水・圧密特性	大島 昭彦	7/ 11(広島)
・WG4 力学特性(土と岩)	龍岡 文夫	6/13(関西)
・WG5 安定化・締固め特性	北誥 昌樹	
・WG6 ジオシンセティックス	木幡 行宏	4/16
・WG7 岩盤不連続面の室内せん断試験方法基準化	江崎 哲郎	
・WG8 特殊土	三浦 清一	7/ 10(広島)
・WG9 ベンダーエレメント試験基準化検討	山下 聡	7/9(広島)
地盤調査規格・基準委員会	三村 衛	6/11, 7/28WG,8/28
・WG1 物理探査・検層	相澤 隆生	
・WG2 ボーリング・サンプリング	木村 英雄	
・WG3 地下水	井尻 裕二	
・WG4 サウンディング	田中 洋行	
・WG5 原位置載荷	谷 和夫	
・WG6 現場密度	曽根田正俊	
・WG7 現地計測	芥川 真一	
・WG8 環境化学分析(透気試験)	宮口 新治	
・WG9 傾斜計による岩盤内変位測定方法基準化	亀村 勝美	6/25
・WG10 初期地圧の測定方法基準化	石田 毅	4/18, 6/27, 9/9
・WG11 スウェーデン式サウンディング試験方法改正	藤井 衛	5/ 9, 6/13, 7/23
・WG12 貫入式地盤硬度計基準化	北村 良介	7/10(広島), 10/9
地盤設計・施工基準委員会	北詰 昌樹	
・WG1 土構造物	本城 勇介	
・WG2 杭の水平載荷試験	中井 正一	4/2,5/13,6/20,7/9(広島), 9/9
・WG3 グラウンドアンカー	山田 浩	5/ 8,6/24 ,9/16
・WG4 サンドコンパクションパイル工法	寺師 昌明	5/21

地盤工学表記法	岸田 隆夫	5/16
・WG1 用語および用語の定義	岸田 隆夫	
・WG2 データシートおよび情報化	(高橋邦夫)	

5. その他

- 1) 理事会(平成20年 7月31日(木) 開催予定)への審議事項・報告事項
- 2)総務部会(平成20年9月16日(火)開催予定)への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日
- ・ 20年度第3回: 平成 20年9月4日 (木) 14:00時~ (対応理事会 H20. 9.26 or 11.28)
- · 20年度第4回: 平成 20年10月28日(火) 14:00時~ (対応理事会 H20. 11.28 or 1.30)
- ☆ 平成20年度 理事会・運営連絡会議 開催日程(予定含む)
- ◎理事会

- 運営連絡会議
- ① 4月25日(金)
- ② 5月16日(金)
- ③ 5月29日(木)総会/理事会 ① 6月27日(金)

- ④ 7月31日(木)
- ⑤ 9月26日(金)
- ② 10月31日(金)
- ⑥ 11月28日(金)
- ③ 12月19日(金)
- ⑦ H20年1月30日(金)
- ④ 2月27日(金)
- 3月18日(水)

- (9) 4月24日(金)
- $\widehat{10}$ 5月15日(金)
- ① 5月28日(木)総会/理事会